

大石川の東に新たに居住したことから、東新居の地名になった。
明治40年の水害で、この地区の大半は流され大きな被害を受けた。



(全散策所要時間：約2時間30分)

① 大久保山中腹 / 見晴台 (みはらしだい)

毎年8月16日に盆の送り火として、この場所で「大」の文字焼きをする。
ここが文字焼きの現場。山から盆地を見下ろす景色は絶景である。
春には、桃の花でピンクに彩る盆地が眺められる。

② 山宮神社 (やまみやじんじゃ)

約2000年も前から祀られている神社である。(詳しくは、石地区のマップを参照)
浅間神社の摂社で国指定重要文化財。
参道は、山の神様に会いに行くおごそかな雰囲気包まれている。

③ お不動さん (おふどうさん)

道路わきに立つ石碑、お不動さんとして親しまれている。

④ 早川家 (はやかわけ)

東京の地下鉄の創業者「地下鉄の父」と呼ばれている、早川徳次の生家である。
家の横にある木は、あまりに大きいため、切ることの災いを恐れ、
今でもそのまま残されている。

⑤ 六地藏 (ろくじぞう)

古い地蔵の首がどれも無い。(通称：首なし地蔵)
寺の建物は今は無く、ゲートボール広場として使われている。

⑥ 秋葉山 (あきばさん)

秋葉神社火防(ひぶせ)の神様である。地元で大切に祀っている。
4月に祭礼が行われ、地区にお札が配られている。

⑦ 大屋敷跡 (おおやしきあと)

この一帯は塩田長者の末裔降矢氏の土地であった。今では古い長屋門が残っている
だけである。屋敷跡の奥の大きな木の根元には、この屋敷の墓が残っている。

地域再発見 一宮町 東新居地区
ウォーキングマップ

